

Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University

沖縄科学技術大学院大学

世界最高水準の教育・研究を目指して

OIST

沖縄科学技術大学院大学 (OIST) は、学際的な教育・研究を行う世界最高水準を目指す新しい大学院大学です。

約50の国と地域から集まった教授陣、学生、研究員が分野の壁を越えたテーマに取り組み、世界に先駆けて教育研究の在り方を変えようとしています。

学部は設けず、異なる分野が混ざり合う学際的な教育・研究を全て英語で行います。

分野： 神経科学、分子・細胞・発生生物学、海洋科学、環境・生態学、数学・計算科学、物理学・化学



高等学校向けOIST見学プログラム (所要時間：1時間30分～2時間)

世界最先端の科学技術研究を行なう国際色豊かなOISTへ、是非一度お越し下さい。

対象：全国の高等学校の生徒
※受け入れ可能人数：80名程度

プログラム：OISTの概要説明、研究者との交流(研究・キャリア紹介など)
研究施設見学

見学の方法、規模、時期等の詳細調整を行ないます。(英語での実施も可)
見学計画に関しては事前に御相談下さい。

見学プログラム
ご予約・お問い合わせ先
TEL 098-966-2184
E-mail visit-us@oist.jp
Web <http://www.oist.jp>

学校法人 沖縄科学技術大学院大学学園
沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1

広報ディビジョン・地域連携セクション



メールマガジン配信中！
OIST最新ニュースをお届けします。

OIST便り

| 検索



公式Facebookでも
最新情報を更新しています！

沖縄科学技術大学院大学 | 検索

《プログラムの様子》



研究員による研究紹介



ラボツアー



研究員による研究紹介



記念撮影の様子

《研究例》

廃水からクリーンな
エネルギー生産に向けて

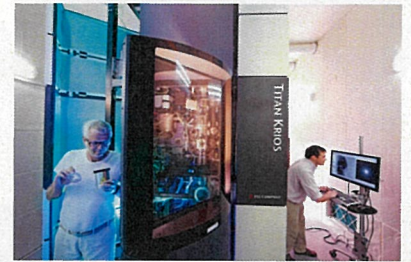
生物システムユニット



微生物から電気を生産する化学作用を応用し、廃水から効率的に電気を生産する技術を研究しています。今後はこの技術を沖縄の主要産業である泡盛酒造、養豚、養鶏、精糖業や廃水の処理施設などで活用し、地元産業界のパートナーとの連携を目指しています。

独自の研究を活かした
ベンチャー企業を設立

構造細胞生物学ユニット

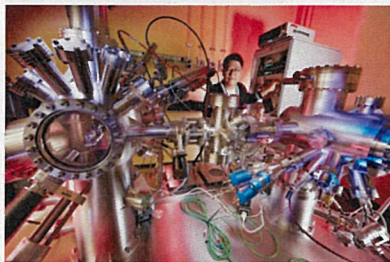


最先端の電子顕微鏡（極低温透過型電子顕微鏡）と、独自で開発したたんぱく質を3Dで解析できる技術を活用し、より高度なたんぱく質等の分析が必要となる製薬会社より分析を受託するビジネスを行うベンチャー企業を2014年6月に設立いたしました。

社名：沖縄プロテイントモグラフィ株式会社
(代表取締役社長：亀井朗)

ソーラー発電パネル
新素材の開発へ

エネルギー材料と表面科学ユニット



コストを抑え、各家庭で効率的に電気を自給できるような太陽電池を作り出すため、現在のソーラーパネルそのものの構造やパネルの表面に使用する物質などから見直し、研究をしています。

世界初! サンゴのゲノム
(DNA情報) の解読

マリンゲノミクスユニット



2011年にサンゴのゲノム解読、2013年にはサンゴと共生する微生物「カッチュソウ」のゲノム解読にも世界で初めて成功しました。今後、世界的に問題になっているサンゴの白化現象のメカニズムを解明し、現象を食い止める研究がすすむと期待されています。

沖縄産難消化米の研究開発

植物エビジェネティクスユニット



沖縄県からの委託プロジェクトで、県内外の様々な研究チームが協力して沖縄産難消化米の開発・生産に努めています。OIST植物エビジェネティクスユニットは、同プロジェクトの一員として難消化米の遺伝的な改良に挑み、効率的な生産ができる品種となるよう研究を進めています。

「OKEON 美ら森プロジェクト」
沖縄の自然環境を記録し、社会に役立てる

沖縄環境研究支援セクション



OKEON美ら森プロジェクトとは、日本で最も高い生物多様性を誇る地域である沖縄において、陸上環境のモニタリングシステムを整備してその自然の現在や今後の変化を明らかにしようとする試みです。その第一弾として、現在は沖縄本島内に24箇所の観測点を設けて、そこから採集される昆虫を調べることを目標にしています。